

日高軽種馬協会のたより

HBA

日高軽種馬農業協同組合

☎0146-22-2258 FAX 22-3452

令和5年7月15日

第 398 号

三石・平取地区1歳馬育成管理品評会 開催される

この時期の風物詩でもある三石地区・平取地区の1歳馬育成管理品評会が両地区で開催された。両地区ともコロナ禍で取りやめていた期間もあったが、三石地区は昨年に引き続き、平取地区は4年ぶりの開催となった。三石地区では牡7頭、牝7頭の計14頭、平取地区では牡6頭、牝7頭の計13頭がそれぞれ出陳され、審査員が出陳馬のコンフォメーションや成長過程、歩様、馴致、手入れ、管理状態、曳き方、展示の仕方、環境整備などを厳しい目でチェックしたほか地区の振興会員や関係団体職員らが集まり、出陳馬の飼養先を次々と巡回した。

6月5日(月)に開催された三石地区では、浮島理JRA日高育成牧場場長と遊佐繁基JBBA日本軽種馬協会種馬場場長が審査員を務め、牡の部最優秀賞にはラフメイカー2022(㈱山際牧場)、牝の部最優秀賞にはメープル2022(土田農場)、みんなが選んだ大賞にはデュークストリート2022(㈱三石軽種馬共同育成センター)がそれぞれ選ばれた。ラフメイカー2022はサマーセール上場予定で、半兄タヤスロンドンは6月24日の函館メイクデビューで見事初勝利を決めた。メープル2022はセレクションセール上場予定で、半兄も昨年のセレクションセールに上場され高い評価を得るなど、非常に仔出しの良いファミリー出身。両馬ともにセールでの高い評価を得ることを期待したい。

19日(月)に開催された平取地区では、三石地区同様に浮島場長、遊佐場長のほか、飯田良弘兵庫県調教師会副会長、古谷剛彦楽天競馬スペシャルアドバイザーの4名が審査員を務め、最優秀賞にはシャイニーガール2022(コアレススタッ

ド)が選ばれた。シャイニーガール2022は1歳が本邦初年度産駒となる父ノーブルミッションと、JRAで3勝し牝馬クラシックにも駒を進めた母とのカップリング。セールへの上場予定はないが、本馬の競走馬としての大成を期待したい。

それぞれの品評会の結果については下記、次頁のとおり。

第51回平取町軽種馬 1歳馬育成管理品評会

最優秀賞

シャイニーガール2022

生産者：雅牧場/飼養者：コアレススタッド

銀賞

ナルハヤ2022

生産者・飼養者：(有)清水牧場

銅賞

ストロンボリ2022

生産者・飼養者：(有)中田牧場

JRA 特別賞(最優秀牝馬)

スズノメヒョー 2022

生産者・飼養者：(有)清水牧場



平取・最優秀賞
シャイニーガール2022

第65回三石軽種馬1歳馬育成管理品評会

	部門・成績	馬 名	父	母の父	出陳者
牝の部	最優秀賞	ラフメイカー 2022	ルヴァンスレーヴ	スズカマンボ	(有)山際牧場
	優秀賞・ みんなが選んだ大賞	デュークストリート2022	スクリーンヒーロー	オルフェーヴル	(有)三石軽種馬共同育成C
	優良賞	エーシンベタラネリ2022	シニスターミニスター	Elusive Quality	水丸牧場
	ベストターンドアウト賞	デコレイト2022	ダノンレジェンド	スペシャルウィーク	(有)稲葉牧場
牝の部	最優秀賞	メープル2022	ドレフォン	マンハッタンカフェ	土田農場
	優秀賞	カワイコチャン2022	シルバーステート	ゴールドヘイロー	(有)山際牧場
	優良賞	ダイワネーブル2022	シャンハイボビー	ダイワメジャー	(株)前田ファーム
	ベストターンドアウト賞	ストロベリーズ2022	フィエールマン	コマンズ	(有)平野牧場



三石・牝の部最優秀賞
ラフメイカー 2022



三石・牝の部最優秀賞
メープル2022

北原広之氏講演会開催

(公財)日高地域人材開発センター運営協議会、ひだか東農業協同組合、日高軽種馬農業協同組合主催の講演会が6月22日、18時30分より、浦河ウエリントンホテルで開催された。講師に東京2020オリンピック・馬術競技出場の北原広之氏(JRA馬事公苑上席調査役)を迎え、「サラブレッドの可能性」と題し講演を頂いた。

北原氏は、馬術競技生活と並行して、競走馬のリトレーニングについても研究を行っており、引退競走馬(タイキラファエロ号など3頭)を馬場馬術の競技馬として再調教に取り組んでいる。これまでの競技生活における苦労や経験を踏まえ、引退競走馬の馬術競技馬へのリトレーニングという他に試みのない挑戦について、北原氏は「(サラブレッドを馬術用に調教することが)とても難しいと言われるなかで、何故そこまで頑張るのかと周囲には言われるが、決して不可能ではないこ

とだと思う。(自らの信念は)『成功の反対は失敗ではない。何もしないこと。』』と語り、引退競走馬が従順に馬場馬術をこなす実際の映像を紹介。会場の聴講者も真剣に見入っていた。講演会には軽種馬関係者から一般まで約170名が来場。終演後は質疑応答や地元の子供たちとの記念撮影が行われるなど、有意義な講演会となった。



講演をおこなった北原広之氏

JRA 札幌競馬場ブリーダーズボックス(生産者席)の 利用方法について

J R A 札幌競馬場のご厚意により、JBBA 会員向けに生産者用観覧席「ブリーダーズボックス」が設けられております。下記の運用方法をご熟読の上、お申し込みください。

・ブリーダーズボックスの運用について

当組合にて利用申込者を取りまとめて利用者名簿を作成し、札幌競馬場へ事前に提出します。
利用者名簿に記載された方のみ、ブリーダーズボックスを利用することができます。

・実施期間・・・2023 年 7 月 22 日～9 月 3 日までの札幌競馬開催日

・利用条件・・・知人・友人のみの利用、一般の方の利用は一切できません。

生産馬が出走する JBBA 会員を優先いたします。

・利用申込・・・『利用日』『牧場名』『お名前』『連絡先』(同伴者がいる場合は全員分の情報)を当組合までご連絡ください。申込締切日の翌日に申込者へ利用についてご連絡します。

※申込締切は当該週の木曜日 17:00 までとなります。

※「限定無料入場券」をお渡しいたしますので、日高軽種馬農協静内支所にてお受け取りください。

利用申込先・・・H B A 業務部 月～木曜日 8:45～17:00 (祝日を除く) TEL:0146-42-1200

利用当日は、札幌競馬場の「馬主・来賓受付」にて席章をお受け取りください。

ブリーダーズボックスはスタンド4階の特別来賓エリア内となります。

席章での馬主席・指定席区域・業務用区域への通行はできません。

また、馬主章でのブリーダーズボックス(特別来賓エリア)への通行はできません。

《4階来賓エリアについては、下記のとりのドレスコードが適用されていますのでご注意ください。》

1. 男性 来賓エリアは、ジーンズやTシャツ等の軽装ではご利用いただけません。
2. 女性 男性のドレスコードに準ずる服装をお願いします。



北海優駿はベルピット

6月15日、門別競馬場で第51回北海優駿（ダ2000m）がおこなわれ、ベルピット（門別・厚賀古川牧場生産）が優勝し、北斗盃に続き道営二冠を達成した。

昨年のJBC2歳優駿では2着となるなど、6戦4勝、2着2回と充実の2歳シーズンだったベルピットは冬期を休養に充て、道営の3冠路線に標準を合わせてきた。今シーズン初戦となった牡牛座特別では、ここでは力が違うと言わんばかりの競馬で後続に8馬身差を付けての好発進を見せた。続く道営三冠路線の第一関門・北斗盃でも3コーナー付近から先頭を奪い、後続を全く寄せ付けないレース振りで1冠目を獲得した。

今回は北斗盃2着のニシケンボブをはじめ、浦和競馬から参戦のキングオブザナイルなどの強敵も顔を揃えたが、単勝オッズ1.1倍の圧倒的な支持を集めた。レースでは好位で立ち回ったベルピットが、北斗盃を再現するかのように早め先頭から押し切り、2着となったニシケンボブに3馬身差を付けての勝利だった。初距離で折り合いを欠く場面も見られたが、持ち前の長く良い脚を使い、直線では懸命に迫ろうとするニシケンボブに反撃の余地を与えなかった。三冠をかけた王冠賞は8月29日におこなわれる。

◆ベルピット（牡3歳）

父パイロ、母ベルライン（byダイワメジャー）
馬主：廣松金次氏 生産者：厚賀古川牧場
通算成績：9戦7勝 獲得賞金：4,190万円
主な勝鞍：23年北海優駿、23年北斗盃

ペリエールが得意舞台で完勝

6月18日、東京競馬場でおこなわれたユニコーンステークス（GⅢ）をペリエール（㈱チャンピオンズファーム生産）が制し、初の重賞タイトルを獲得した。

ペリエールは2021年サマーセールで1,100万円（税込）で取引され、2歳8月の札幌ダ1700mでデビュー。ここには、後に3連勝で青竜ステークスを制したユティタムなどの素質馬もいたがデビュー勝ちを飾り、返す刀で次走のオキザリス賞も勝利し連勝となった。1番人気で挑んだ全日本2歳優駿こそ3着に敗れたが、年明け初戦となったヒヤシンスステークスを上がり最速の末脚で勝利した。その後はドバイ・UAEダービーに挑戦し、4着となり、今回は得意の東京ダートに戻り帰国初戦となっていた。

レースでは、中団からじわじわとポジションを上げ、直線を向くころには3番手へ。終始余裕のある手応えで逃げたニシノカシミアと2番手から押し切りを狙ったサンライズジークを捕らえると、後続に3馬身差を付けての勝利となった。これで東京ダート戦では3戦3勝とし、得意舞台で3歳ダート路線の主役候補へと躍り出た。

類稀なるそのスピードに、これから益々の活躍が期待される。

◆ペリエール（牡3歳）

父ヘニーヒューズ 母ソフトライム（byフジキセキ）
馬主：長谷川祐司氏 生産者：㈱チャンピオンズファーム
通算成績：6戦4勝 獲得賞金：8,291万円
主な勝鞍：23年ユニコーンステークス、23年ヒヤシンスステークス

メイショウハリオ 剛脚一閃で混戦を制す

6月28日(水)、大井競馬場で第46回帝王賞 (Jpn I) がおこなわれ、メイショウハリオ (浦河・(有)三嶋牧場生産) が手に汗に握る接戦を制し、連覇を達成した。

メイショウハリオは、3歳4月に既走馬相手の未勝利戦でデビュー。11番人気ながら上がり最速の末脚で5着に入着を果たし素質の片鱗を見せ、続く未勝利戦を勝ち上がると、以降は凡走の少ない堅実な走りで4歳の夏を前にオープン入りを果たした。オープン昇級後3走目に、みやこステークス (GⅢ) へと出走し重賞初挑戦となったがここを勝利し、初の重賞タイトル獲得となった。その後もマーチステークス (GⅢ)、昨年の帝王賞などを制覇し、ダート路線のトップを牽引してきた。今年初の初戦となったフェブラリーステークス (GⅠ) では大きく出遅れる不利がありながら、最後方から猛然と追い込みを見せ3着となるが、前走のかしわ記念 (Jpn I) では後方から鋭い追い込みが炸裂し、2つ目のGⅠタイトル奪取となった。

連覇をかけた今年の帝王賞は強力メンバーが出揃った。一昨年の帝王賞覇者で世界のウシュバテソーロの鎬を削ってきたテーオーケインズが一番人気に支持され、メイショウハリオは二番人気に。類稀なスピードを武器に連勝街道をひた走るプロミストウォリアが三番人気。昨年のチャンピオンズカップ (GⅠ) では3歳馬ながら2着となるなど、世代トップクラスの実力をもつクラウンプライドが4番人気。ジャパンダートダービー (Jpn I) を勝ち、東京大賞典 (GⅠ) でも2着となるなどこの舞台と好相性のノットゥルノが5番人気。これまで重賞で連対を外したことのない安定感が持ち味のハギノアレグリアスが6番人気。そして、昨年のチャンピオンズカップ (GⅠ) の覇者ジュンライトボルトが7番人気の伏兵扱いをされてしまうほどの豪華メンバーの中でレースはおこなわれた。

ゲートが開くと、クラウンプライドが好スタートを切るがハナを伺う様子はなく2, 3番手のインコースを選択し、外からプロミストウォリアがハナを主張すると、ライトウォーリアやランリョウオーも積極的に運び先団を形成した。ハギノアレグリアス、ノットゥルノ、テーオーケインズ、ジュンライトボルトらが中団に構えるなか、メイショウハリオはいつも通り後方からそれらを見る形でレースは流れた。3〜4コーナーにかけて馬群は徐々に凝縮し、メイショウハリオも大外から勢いよく直線に向かった。空いた最内をクラウンプライドが突き完全に抜け出す格好に見えたが、馬群を捌いてきたテーオーケインズと大外からメイショウハリオが差し脚を伸ばし、争いは3頭に絞られた。ゴール前まで激しい追い比べは続き、懸命に粘るクラウンプライドをメイショウハリオが僅かに差し切ったところがゴールだった。この接戦での勝利は自身のGⅠ連勝とともに、これまで帝王賞連覇に挑んだフリーソやホッコータルマエ、オメガパフュームなどの大井競馬場でも無類の強さを誇った馬たちでも成し得なかった史上初の快挙を同時に達成した。

今年は日高から世界を制したウシュバテソーロが誕生した。日本のダート競馬も世界トップレベルに近づきつつあることの証明でもあった。メイショウハリオにも、今後の活躍を期待したい。

◆メイショウハリオ (牡6) 父パイロ 母メイショウオウヒ (byマンハッタンカフェ)

馬主：松本好雄氏 生産者：(有)三嶋牧場 (浦河) 栗東・岡田稲男厩舎所属

通算成績：22戦9勝 獲得賞金：4億5,130万円

主な勝鞍：22年、23年帝王賞 (Jpn I)、23年かしわ記念 (Jpn I)、22年マーチステークス (GⅢ) など

馬の熱中症

浦河診療所

櫻井 健太郎

7月にもなり少し暑さを感じる時期になってきました。ここ数年北海道でも夏の猛暑日が見られるようになり、夏の暑さへの対策が必要となってきました。そこで今回は馬の熱中症についてお話しさせていただきます。

体温の主な発生源は運動で、運動すればするほど筋肉から熱が発生し体温が上昇します。体温が上昇すると、血液が体内を循環する際に体内の過剰な熱を集め体の表面に広がった血管を通じて熱を放出します。また大量に汗をかくことで汗の水分が蒸発する時に熱が奪われ体表を冷やすことで体温を下げます。このような仕組みにより環境の温度が変化しても体温を一定に保つことができます。しかし、炎天下などの蒸し暑くジメジメしている環境下においては、筋肉で生成される熱に加え太陽からの強い日差しや地表面からの反射してくる熱が加わり体温が上昇しやすい上に、大量に汗をかいても汗を蒸発させることができないので体温が下がりにくくなります。結果、体内で生じた熱を放出できず、体温が異常に上昇した状態を招き高体温の原因となります。

熱中症の兆候としては以下のようなものが考えられます。1)体温 40.5°C ～ 41.5°C という高熱、2)速い呼吸・心拍、3)まったく歩けない、

4)餌を食べない、5)脱水、6)重症の場合横臥し立てなくなり痙攣や意識を失う

上記のような兆候が見られた場合は、直射日光の当たらない場所に避難させ扇風機で風を当て冷たい水で馬の体を冷やしてあげてください。体を冷やす際に太い血管（首の両側を走る頸静脈・前肢の内側を走る静脈・後肢の内側を走る大きな静脈）を中心に冷やしてあげると効果的です。また脳には体温調節中枢があるため、額を氷で冷やしてあげるのも効果があります。重症の場合は、脱水・電解質損失・ショックを治療するために点滴が必要となります。

熱中症対策としては食塩（ナトリウム）の補給が有効です。ナトリウムは喉の渇きを促す効果があるため、馬の血液中に適切な量を維持することが非常に重要です。馬の汗には塩化物とナトリウムが多く含まれているため、馬が大量の発汗をしていると体内のナトリウム濃度が低下し、結果として飲水欲求が低くなる可能性があります。ナトリウムを補給する方法としては、毎日餌に体重 200kg あたり大さじ1杯（ 15g ）の食塩を餌に混餌することが推奨されます。

熱中症の兆候は、軽度なものから命に関わる重度なものまであります。仔馬は成馬ほど暑さに強くなく、暑い日の放牧中母馬は元気でも仔馬は体調を崩している可能性があります。熱中症の疑いがある場合は直ちに獣医師に連絡していただくようよろしくお願いします。

熱中症の治療法

